

# 取り付けと接続

## XTL-W7/W5

Sony Corporation ©1999 Printed in Japan



### 警告 安全のために

#### 警告表示の意味

「取付接続説明書」および取扱説明書、製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

- 警告** この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。
- 注意** この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり自動車に損害を与えたりすることがあります。

#### 注意を促す記号



**警告** 火災 感電 下記の注意を守らないと**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

**禁止** 本機はDC12Vマイナスアース専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車など、24V車で使用すると火災などの原因となります。

配線作業中は、バッテリーのマイナス端子をはずすマイナス端子をつないだまま作業をすると、ショートにより感電の原因となります。

**禁止** 前方の視界を妨げる場所に取付けけない。前方の視界の妨げになると、事故やけがの原因となります。

**禁止** パイプ類、タンク、電気配線などを傷つけない。火災の原因となります。車体に穴を開けて取り付けるときは、パイプ類、タンク電気配線などの位置を確認してください。

**禁止** 助手席用エアバッグシステムの動作を妨げないように取り付ける。動作の妨げになる場所に取り付けると、エアバッグが正常に働かず、けがの原因となります。

ステアリングやブレーキ系統、タンクなどにある車の性能を維持するための部品を使わない。車体のボルトやナットを利用するとき、ステアリングやブレーキ系統、タンクなどの部品を使うと、制動不能や火災の原因となります。

**禁止** 運転操作や車体の可動部を妨げないように取り付ける。運転の妨げになる場所、車体の可動部の妨げになる場所に取り付けや配線をする、事故や感電、火災の原因となります。  
 ●ネジやシートレールなどの可動部にコード類をはさみ込まない。  
 ●コード類はまとめる。  
 ●ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどが正しく操作できることを確認する。

**禁止** 分解や改造をしない。火災や感電、事故の原因となります。電源リード線の被覆を切つて、他の機器の電源を取ると、リード線の電流容量を超えてしまいます。内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。

**禁止** 雨、水がかかる場所、湿気、ほこりの多い場所には取付けけない。上記のような場所に取り付けると、火災や感電の原因となります。

規定容量のヒューズを使う。ヒューズを交換するときは、必ず電源コードのヒューズケースまたは本体に記された規定容量のアンペア数のものをお使いください。規定容量を超えるヒューズを使うと、火災の原因となります。

**注意** 下記の注意を守らないと**けが**をしたり**自動車に損害**を与えたりすることがあります。

**禁止** 安定した場所に取り付ける。振動の多いところや、天井などに取り付けると、製品が動く、落ちるなどにより、事故やけがの原因となることがあります。

**禁止** 本機の通風口や放熱板をふさがない。フロアカーペットの内側やマットの下などに設置して通気口や放熱板などをふさぐと、内部に熱がこもり、火災などの重大事故の原因となります。

**禁止** TVアンテナは車体からはみ出さないように取り付ける。歩行者などに接触し、事故の原因となることがあります。

**禁止** アンテナは確実に両面テープで固定する。車体や歩行者などに接触し、事故の原因となることがあります。

付属の部品で正しく取り付ける。他の部品を使うと、機器の内部を傷つける、しっかり固定できないなどで、火災やけがの原因となることがあります。

**ソニーFAXインフォメーションサービスのご案内** (FAX付電話でご利用になれます)

カーフィッティングFAXサービス 車種メーカー、車種・車種形式別のカーオーディオの取り外し方法、各種センサー位置等の資料

①インデックスの入手 / 03-3552-7209 → 車種メーカー別のBOX番号を受信  
 ②資料請求 / 03-3552-7488 → アナウンスに従いご希望の車種の該当BOX番号を入力してください。

●ソニーFAXインフォメーションサービスをご利用の際のインデックス入手料・資料請求は通話料のみお客様のご負担となります。またFAXの機能によっては受信できない場合があります。  
 ●FAXサービスのメンテナンス日は 毎月第2木曜日 午前8:00～午後11:00となっております。ご迷惑をおかけしますが、当日前記時間帯は資料を取り出すことはできません。ご了承ください。(第2木曜日が祭日の場合は前日の水曜日をメンテナンス日とさせていただきます。)

24時間 お手元のFAXで資料が取り出せます

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35  
 お問い合わせはお客様ご相談センターへ  
 ●ナビダイヤル 0570-00-3311 (全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます)  
 ●携帯電話・PHSでの利用は 03-5448-3311  
 ●Fax 0466-31-2595

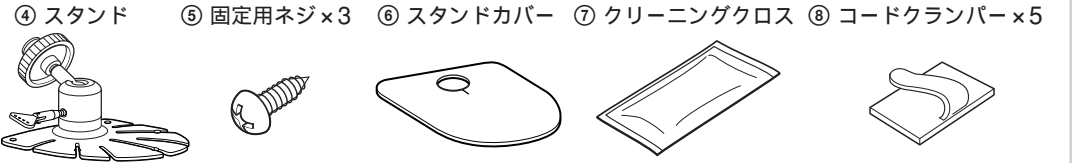


### 付属部品の確認

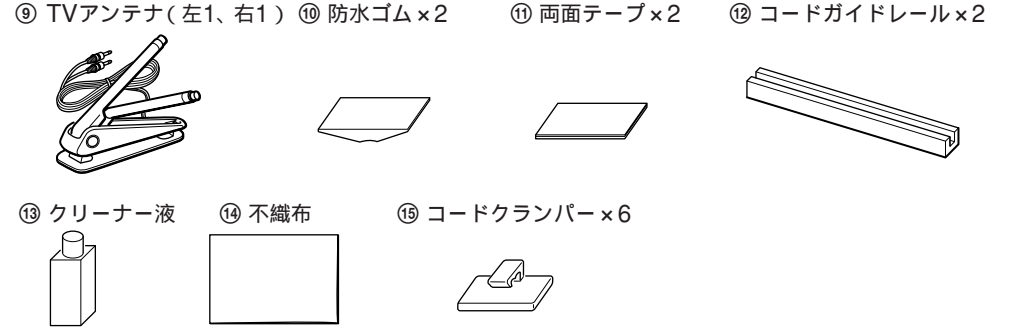
#### コネクションボックス



#### モニター



#### TVアンテナ



#### その他

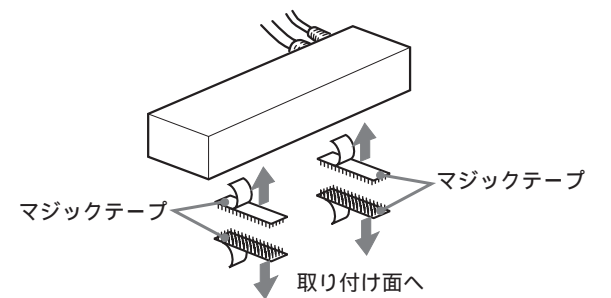


### コネクションボックスの取り付け

#### ご注意

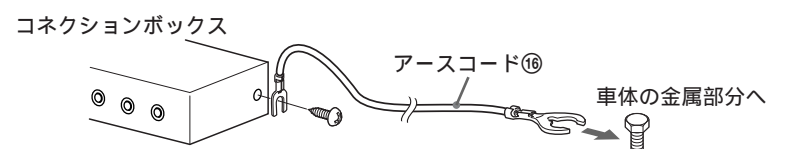
- ナビシステムと組み合わせてお使いになるときは、地図ディスプレイとコネクションボックスは、できるだけ離して設置してください。近づけて設置すると、テレビ画面にノイズが出る場合があります。
- 取り付け面をきれいにしてから取り付けてください。
- 次のような場所への取り付けは避けてください。
  - －高温になるところ
  - －直射日光が当たる場所、ヒーターの熱風を直接受ける場所など、温度が極端に高いところ。

#### マジックテープ③を半分に切り、カーベットなどに取り付ける



マジックテープは、底面中央の銘板を避けて貼ってください。

オルタネーターノイズが発生するときはオルタネーターノイズ(エンジン回転を上げたときのヒューンという音)が発生する場合には、アースコード⑩をコネクションボックス側面のネジで固定し、コネクションボックスを車体の金属部分にアースしてください。



### モニターを取り付ける前に

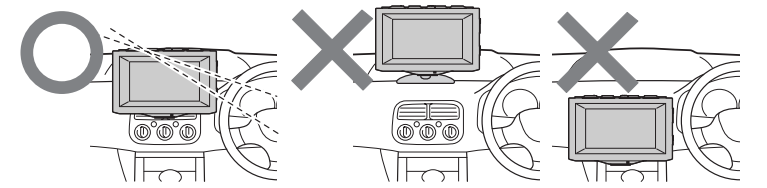
#### ご注意

- 助手席用エアバッグシステムの動作を妨げないように取り付けてください。
- 不安定な取り付けは絶対にお避けください。走行中にはずれることがあり、大変危険です。

モニターは、安全性を重視して設計されておりますが、正しい位置に確実に取り付けを行わないと、事故の原因となり大変危険です。取り付け前に、必ず下記事項の確認を行なってください。

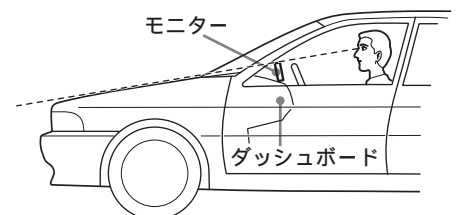
#### 取り付け位置

前方視界を妨げることがなく、また運転中極端に視線を動かさずにすむように、ダッシュボードのなるべく高い位置に取り付けてください。極端に目線を下げる位置に設置しないでください。



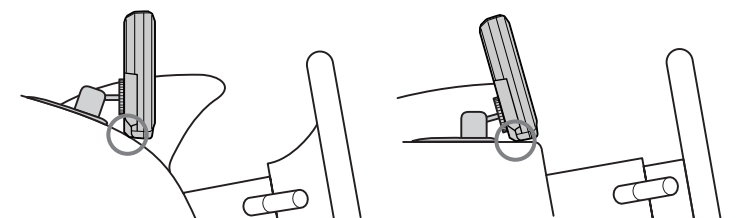
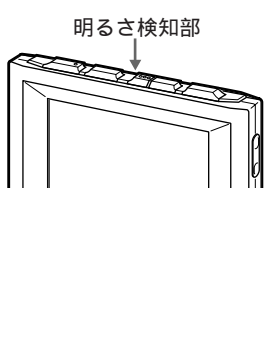
#### 取り付け位置のポイント

運転者から見て、ボンネットの先端よりもモニターが上に出ない位置に取り付けます。



#### 取り付け例

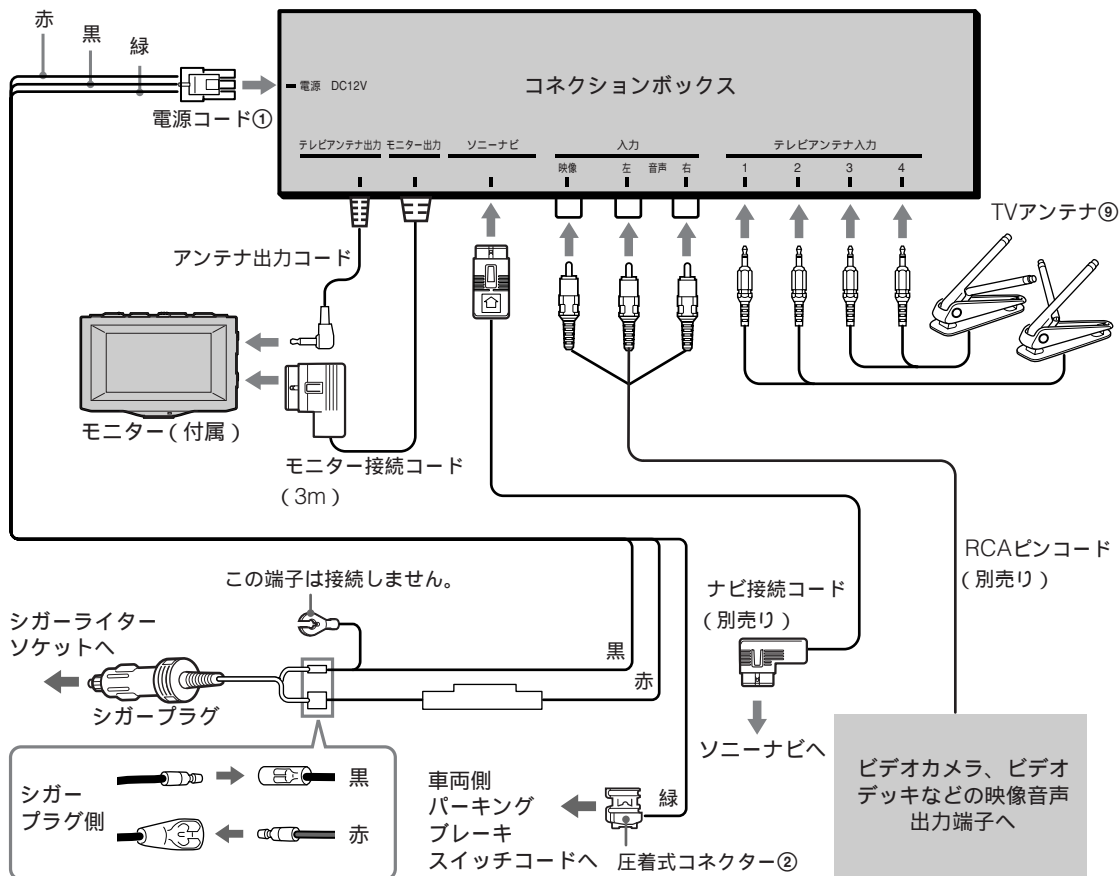
モニターの底面がダッシュボードに接触するように取り付けてください。ダッシュボードが曲面の場合 ダッシュボードが平面の場合  
 モニター底面をダッシュボード モニター底面をダッシュボードの平面にあてて固定する。



## 接続図

必ず接続先の機器に付属の取扱説明書もあわせてご覧ください。

取り付ける車両のくわしい資料については、「ソニー-FAXインフォメーションサービス」(表面左下参照)をご利用することもできます。



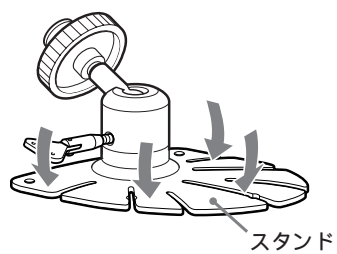
- ご注意**
- 作業中の事故防止のため、シガーライターソケットへは最後に接続してください。
  - パーキングブレーキスイッチコードを接続しないと、テレビやビデオ、ナビゲーションシステムが走行中と誤ってしまい、設定や登録などの操作ができなくなります。詳しくは、「パーキングブレーキスイッチコードの接続」(右記)をご覧ください。
  - ナビ入力端子はナビシステム専用です。ナビシステム以外に接続しないでください。
  - 97年度秋以降の発売機種(NVX-W8以降)は、別売りのナビ接続コードRC-302(3m、20ピン-20ピン角形ジャック)をお使いください。

## モニターの取り付け

取り付ける位置については、裏面の「モニターを取り付ける前に」をご覧ください。

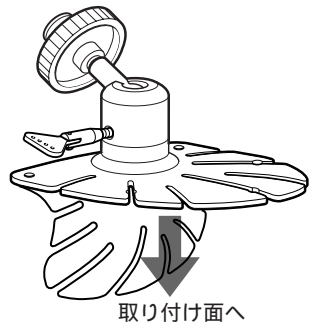
曲げすぎて、スタンドが浮かないようにご注意ください。

- 1 **ダッシュボードの形状に合わせて、スタンド④を曲げる**

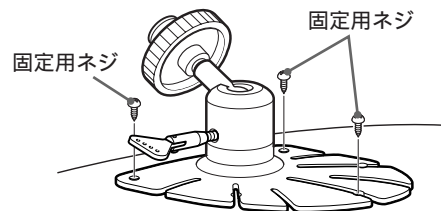


- 2 **クリーニングクロス⑦で取り付け面の汚れを取る**

- 3 **両面テープのはくり紙をはがし、貼り付ける**



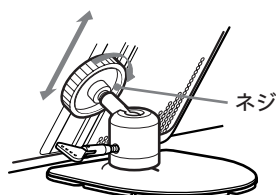
- 4 **固定用ネジ⑤で固定する**



- 5 **スタンドカバー⑥を接着する**

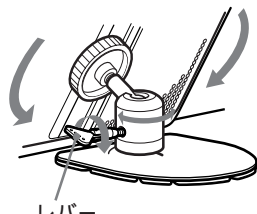


- 6 **モニター背面のみぞにスタンドのネジを差し込み、高さを決める**



車の振動によるぐらつきを防止するため、モニターの底面がダッシュボードにあたるように高さを調節してください。調節後はネジを締めて固定します。

- 7 **レバーをゆるめて角度を調節する**



調節後はレバーをしっかり締めて固定します。

- 8 **コードクランパー⑧でモニター接続コードを固定する。**

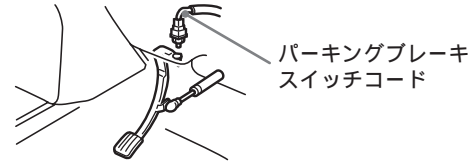
## パーキングブレーキスイッチコードの接続

パーキングブレーキスイッチコードの位置は車両によって異なります。

下図は代表的な例ですが、詳しくはお買い上げ店にご相談ください。

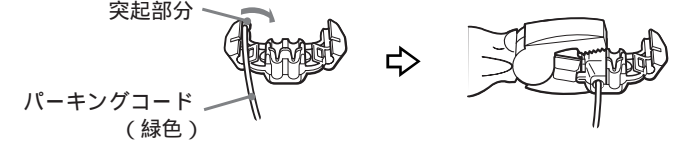
パーキングブレーキがフットブレーキの場合

パーキングブレーキがハンドブレーキの場合



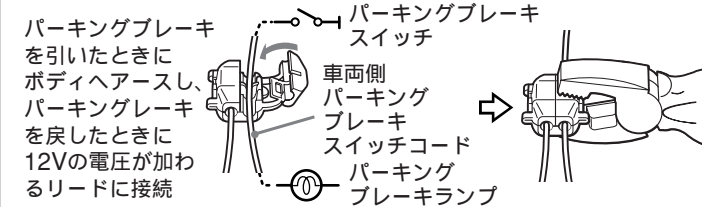
### 圧着式コネクターの使いかた

- 1 **電源コードのパーキングコード(緑色)の先端に圧着式コネクター②を取り付ける**



- 2 **圧着式コネクターを車両側パーキングブレーキスイッチコードの適当な位置に取り付ける**

●**ご注意**  
車両側パーキングブレーキスイッチコードが細い場合、接触が不十分になることがありますのでご注意ください。

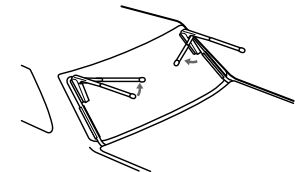


## TVアンテナの取り付け

取り付ける前に

- 必ずリアウィンドウに取り付けてください。
- 車のラジオ用アンテナや、パーソナル無線、アマチュア無線、自動車電話などのアンテナから離してください。近くに設置すると、他のアンテナの影響を受ける場合があります。
- エレメントが車体より出ない所を選んでください。目に当たるなどして大変危険です。
- 湿気の高いとき(雨、霧など)は、取り付け面を十分に乾燥させてください。取り付け面に水気があると、接着力が低下し、はがれる危険があります。
- 取り付け面の温度が低いときは、接着力を上げるため、車内ヒーター、リアウィンドウデフォグガー、ヘッドライナーなどを利用し、温めてから貼り付けてください。

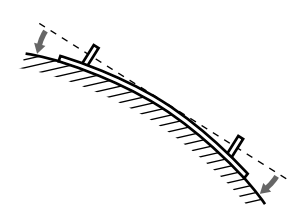
なるべく平らな部分に貼り付けてください。ガラスの曲面が大きいと はがれるおそれがあります。アンテナの左右を確認して取り付けてください。取り付け場所によってはアンテナの性能が劣化する場合がありますので、受信状態を確かめてから取り付けてください。



あらかじめ、不織布⑨とクリーナー液⑩で、貼り付け面の油やワックス、ほこりなどを拭きとっておきます。クリーナー液が乾いたら水で洗い流して乾いた布で乾拭きしたあと、以下の手順で取り付けてください。

- 1 **TVアンテナ⑨から取り付け金具をはずし、貼り付け面に合わせて折り曲げる**

取り付け金具と貼り付け面の間にすき間がないことを確認してください。

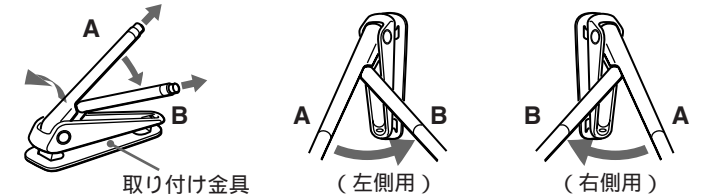


- 2 **取り付け金具裏面のはくり紙をはがして貼り付ける**

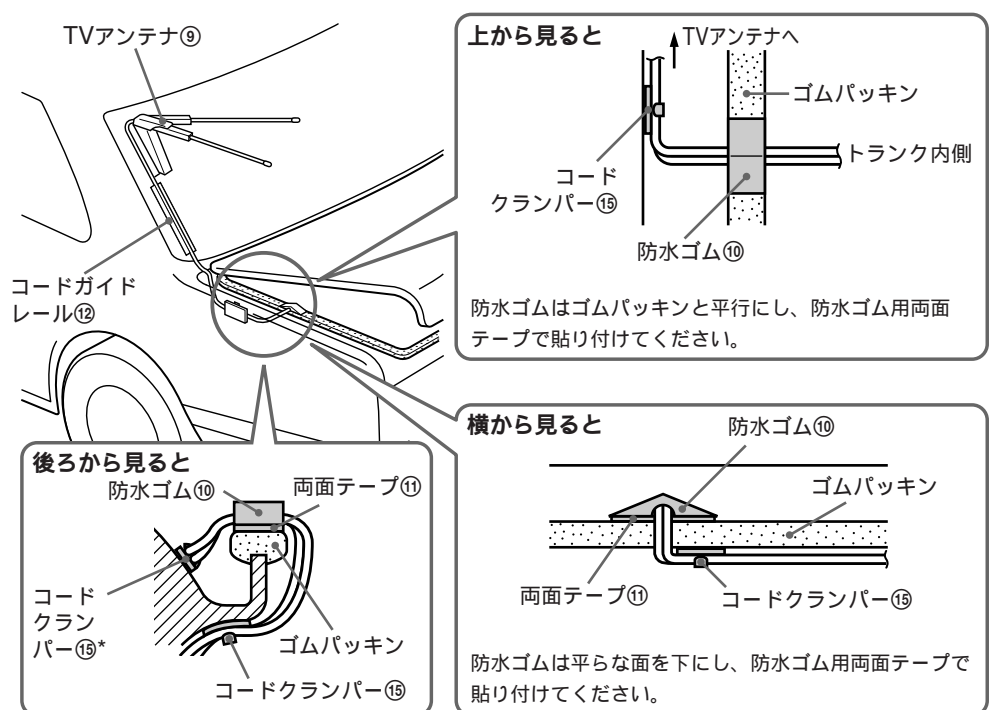
接着面に手を触れたり、貼り直しをすると接着力が低下しますのでご注意ください。

### TVアンテナの使いかた

アンテナ本体を起こしてから、エレメントAおよびBの各段をいっばいにのばし、エレメントBを内側へ倒します。



### 配線のしかた



\* このコードクランパーは必ず防水ゴムより低い位置に取り付けてください。トランク内への水漏れの原因となります。